



かわごえ



民児協だより

[第77号]

令和元年6月発行

川越市民生委員児童委員協議会連合会広報部会 / 川越市小仙波町 2-50-2 川越市社会福祉協議会内 ☎049(225)5703・FAX049(226)7666



善長寺の蓮

川越市豊田本にて

撮影者：清水 直哉

本日は、川越市民生委員児童委員協議会連合会の令和元年度の総会が、盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。民生委員・児童委員の皆様方には、日頃から地域の小さなお子様から高齢者の方々の相談役として、また地域住民と行政の橋渡し役として御尽力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。



川越市長
川合善明

令和元年度
川越市民生委員児童委員協議会連合会総会
にあたって

元号が令和に変わりましたが、川越も含め高齢化は着実に進んでおります。川越市の現在の六十五歳以上の高齢者が人口に占める割合は、二六・四パーセントで、これから益々増加する見込みとなっております。また、地域によってばらつきがございます。既に高齢化率が四割近い地域もございます。このような状況の中、行政の力だけでは難しい時代になっており、地域の中で、地域の方に寄り添い御活躍されている民生委員・児童委員の皆様の御支援が重要であると考えております。本年は、三年に一度の一斉改選の年でありますが、今後も地域福祉の担い手として、御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

川越市では、「だれもが住み続けたいまち 川越」の実現に向けて取り組んでいるところでございますが、引き続き皆様方の御支援、御協力を心よりお願い申し上げます。

結びに、川越市民生委員児童委員協議会連合会のみならずの御発展と、皆様方の御健勝と御多幸を祈念申し上げます。



ふれあい福祉まつり



第二十九回

ふれあい福祉まつり実行委員会委員長

村上 まさ

令和へ

地域福祉の進展を

濃く淡くみどりが萌ゆる伊佐沼公園で、第二十九回ふれあい福祉まつりが開催されました。今回のキャッチフレーズは「平成から令和へ福祉の笑顔つなげよう」です。

に生きる福祉のまちづくりを目ざしそれぞれ特色ある企画で参加くださり、おかげで成功裏に終えることが出来ました。

この事業は昭和五十六年の「しあわせ広場」から始まり、更に内容を拡充して「ふれあい福祉まつり」と改名され、昭和・平成・令和と継続しています。創設当初から民生委員・児童委員の皆様にはご尽力を賜り衷心より感謝を申し上げます。

令和元年の今年は、民生委員・児童委員の一斉改選の年でもあります。ますますのご発展と、ご健勝を祈念申し上げます。ただきます。

近年、超高齢社会、人口減少社会を迎え日頃から地域の方々の身近な相談役として、また地域と行政を結ぶ重要な役割を担っている皆様です。各部会が共

各部会の取組紹介

生活福祉部会



過ごしやすい気候の中、「民生委員・児童委員」のPRも兼ねて黄色のベストを着用して、ステージに立つ出演者の荷物預かりを行いました。

また、「売り物になる」と褒められる程、腕を上げた部会員も楽しんで色とりどりの剣やハート型、花のバルーンアートを作り差し上げました。昨年も来て下さった方、孫の分まで頂きに来た方と注文が相次ぎ、一時は一番人気の剣は間に合わない程の人気でした。

来年も更に腕を上げて盛りあげて行きたいと思えます。

児童福祉部会



アイディアに富んだかわいいペットボトルけん玉が子ども達の目を奪い、高齢者にも大人気、孫と遊ぶのでとのご所望の方々が続け

てご来訪、午後の部までけん玉がなくならない様に、後方の製作班は、フル回転に追われました。「今年はさらにバージョンアップしましたね」と多くのご感想もいただきました。また、男の子達は、わり箸鉄砲がめずらしく、親子で的あてに夢中になり、童心にもどれる時間と場所になりました。

主任児童委員部会



今年も晴天に恵まれ、伊佐沼には爽やかな風が吹きました。私達のブースは恒例のスーパースくいと輪投げです。開会式前から可愛いお客さん達が集まってくれました。閉会の三時まで引つ切りなしの忙しさでしたが、お子さん方に楽しんでいただけるのが嬉しく、昼前後の強い日差し

に焼かれるのもお構いなしに一緒に遊びました。私達が持ち寄った景品を選ぶ子ども達も真剣です。

溢れる笑顔に囲まれる中、子ども達が皆幸せで健やかに育まれるよう願いました。

高齡福祉部会



「こちらへどうぞ」さりげない声かけに次々と測定希望者が並びます。「ハッイ目をつむって、どんな風に見えますか？アハハ、昨日飲み過ぎましたかー？」五月の空の下、元気で愉快な会話がはずみます。

高齡福祉部会、今年は例年実施している血圧測定に加え、視界のゆがみなどを自己チェックするアムスライチャートも用意しました。高齡者の関心は高く部会員の指示に片目をつむり検査

に応じる姿が印象的でした。血圧測定と合せて一九八名の参加を頂きました。

男女共同参画推進部会



男女共同参画推進部会は毎年、ご来場の方に湯茶の無料サービスをしています。今年も東後楽会館閉館のため、二・三日前から飲料水の調達や湯沸し準備まで、四名の男性部員の活躍にて無事役目を果たし、延べ六百七十名に新茶でのどを潤してもらえました。美味しいお茶を提供できました。

当部会は理解しづらいかなと思います。夫婦、親子、兄弟姉妹が男女の在り方を話し合えるきっかけとなれば嬉しく思います。

広報部会

今年の「ふれあい福祉まつり」は、広報部にとつて素敵なふれあいがありました。それは部員が例年通りチラシと折り紙のコマを活用して広報活動を実施している最中、テントに立ち寄ってくれた方との出会いです。初対面で世間話をするうちに似顔絵を描いてもらう機会を得て、その巧みさに驚きました。それもそのはず、その方は「みんなを幸せにすることが趣味」のイメージキャラクター「福くらちゃん」の生みの親であることが判明。「ふれあい支えあいのまち川越」にふさわしい方でした。この偶然の出会いが、福祉まつりからの素敵な贈り物となりました。

部会長の似顔絵



川越市社会福祉協議会「福くらちゃん」

連合会総会の講演を聴いて

熱い五月末、トランプ米大統領来日中の二十七日に川越市民児協総会が開かれ、研修会では「生活困窮の現状とその支援について」の講演がありました。講師は川越市福祉部生活福祉課自立相談支援担当の方と、川越市自立相談支援センターの方で、制度の目標である「生活困窮者の自立と尊厳の確保」に向け、多くの取り組みを実施しています。昨年十月の法改正に伴う関係部署の連携及び協力にあたって、川越市では三十二課により実施しています。他制度との連携の一つである地域福祉施策では、民生委員・児童委員による「地域住民相互の支え合い等インフォーマルな支援の創出」、「地域ネットワークの強化」に期待をしているとのことでした。

この制度は、第二のセーフティネットとなるため、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある人



川越市民生委員児童委員協議会連合会 総会



を広く対象として支援するもので、必須事業と任意事業を加えた取り組みをし、その成果はあがっているとのことでした。今後の課題としては、「更なる事業周知をすること」「困窮が疑われるケースを把握した場合の情報共有や支援体制を整えること」であり、「支援会議」システムが構築されたら関係者の参加を願いたいとのことでした。

令和の時代は、民生委員・児童委員として新たな取り組みが要求される予感がありました。研修でした。

生きがい訪問

● 第一地区 ●

宮本 俊男さん



人生一〇〇年と言われる時代となってきました。健康を維持するには趣味を三種類以上必要とされています。私の趣味は四種類。

- 一 グラウンドゴルフ 週二回
- 二 コーラス 月二回
- 三 囲碁 週一回
- 四 花と野菜作り

グラウンドゴルフについて



では、若い頃からスポーツが好きで自治会や老人会主催の野球、ソフトボール、ゴルフに参加してきました。身体で一番弱くなるのは足腰なので体力の増進になると思い参加しています。第一支部、市老連の大会に年数回参加しております。コーラスは、七十四歳頃から町内の老人会で、老化予防のために行っております。市の桜祭り、新河岸川河川浄化大会、市老連芸能大会にも参加しております。囲碁のきっかけは、七十二歳まで働いていた私は一度も経験がありませんでしたが、近所の人に勧められ、幸いにも自宅に碁盤があり始めました。高齢ですの上達はしませんが楽しんで出来るので満足しております。先輩の方から「囲碁十徳」の教えをいただきましたのでその一部を掲載します。

- ① 囲碁は頭の体操となり若さを保つと言われています。
- ② 人間の生きがいを教えてくれると言われています。
- ③ 囲碁には、手によって交わる語らいで心の友が得られます。

れます。

園芸については、写真にある君子蘭等を育てています。野菜は、これからの時期は茄子、トマト、小玉西瓜等を育てることを楽しみにしています。

私も今年十一月で九十歳になります。日常の生活については『日々是好日』、不幸は、結果の善し悪しにとらわれず、かけがえない一日一日を大切に感謝の気持ちで過ごしていきたいと思えます。



● 芳野地区 ●

関根 久子さん



私の住んでいる芳野地区は、入間川を挟んで東は上尾市、北は川島町に囲まれたのんびりとした穏やかな



めぐり」も終了し、その後「武蔵三十三ヶ所めぐり」、埼玉県外の千葉方面、また栃木、茨城方面にも出かけ、大いに見聞を広めてまいりました。

地域です。土日になると川田谷の飛行場より練習機が舞うので、私たちはグラウンドゴルフの練習に励んでおります。平穩な毎日を送っている私達にとつて、何よりの楽しみになっております。仲間達と体を動かし休憩の時は、笑いながら語らい、元気の源になっております。そして、この練習の成果は、地域のスポーツクラブ主催の大会や、川越市内の大会で発揮し、仲間達と共によりよい結果を出すことよつて、スポーツの楽しさを今でも感じることが出来るのです。これからもまだまだ頑張りたいと思えます。

また、数年かけて開催された「秩父三十四ヶ所札めぐり」も終了し、その後「武蔵三十三ヶ所めぐり」、埼玉県外の千葉方面、また栃木、茨城方面にも出かけ、大いに見聞を広めてまいりました。

日常は、家業の事務職を今でも手伝い、若い人の中に入つて元気を貰つております。少しでも暇が出来ると、編物をしたり、子ども達にあげる折り紙を折つたりと、いつも体を動かしていないと気が済みません。

この時期には、パンジー、ベゴニア、ガーベラ、マリーゴールドと、色とりどりの花に囲まれてガーデニングに精を出しています。また、庭の手入れで木々の剪定、草むしりと、体を使うことが多く、腰痛となつたり、手がしびれたり、そんな時は痛切に年齢を感じることもあります。いつ迄も元気で生きがいを持つて、日々暮らしていきたいと思つております。

地区民児協だより

大東地区

山田 幸次

大東地区は、川越市の西部に位置し、北に入間川が流れ、緑豊かな田園地帯が広がる。本地区内には、約三万五千人が居住している。四十四名の委員で民児協が構成されている。

〈活動方針〉

- 一 民生委員・児童委員の活動を支援するため、連絡、研究及び親睦を図る。



- 二 「民生委員・児童委員信条」に示された活動を推進する。

- 三 出来ることを、できる時に活動する民生委員・児童委員でありたい。

〈定例会〉

月一回の定例会は、連絡調整事項を最小限に止め、職務遂行に必要な事項等を小集団で話し合う時間に割いている。一人ひとりが受け身から、皆が発言しやすい学びの場となっている。

〈県外先進地視察研修〉

「百聞は一見に如かず」毎年行う県外の福祉活動先進地の訪問は、民生委員・児童委員の絶好の研修機会である。現地の講話や体験談は本や座学では知り得ない貴重な体験である。

研修中の委員相互の情報交換や親睦にも意義がある。本研修は、民生委員・児童委員の人格と識見の向上になり、民生委員・児童委員の活動に活かされている。



〈地域連携〉

民生委員法の趣旨に従い、住民の信頼を得て活動し、民児協の任務を果たすために、大東支会や地区社協と連携を密にしている。大東市民センター・大東南公民館の支援によって民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりが醸成されている。

霞ヶ関北地区

中島眞利子

私達の地区は、東武東上線霞ヶ関駅の周辺と角栄団地、東急ニュータウン、伊勢原町と大きく分けるとこ

の環境の異なる三地域、十四自治会からなっています。民生委員児童委員協議会は二十七名で構成されていますが、この地域の高齢化率は高く一人暮らし七十歳以上の方は、七〇〇人近くいます。

社協と自治会、民生委員児童委員協議会では、様々な企画により高齢者の見守りをしています。

「地域ふれあい福祉まつり」を十一月ごろ霞ヶ関北公民館で実施しています。この事業は、子どもから高齢者まで沢山の人が一堂に集まり交流を深めています。昼食には、「ボランティア虹の会」の方々が手作りして下さった豚汁とお稲荷さんを、高齢者には無料で振る舞いました。『両手で

の新米すくいゲーム』や、アトラクションでは『幼稚園児の合唱』参加者の『血管年齢測定』等、笑顔と笑いの絶えない一日を過ごします。

また、昨年の四月から、霞ヶ関駅前交番近くの歯科跡地に『コミュニティサロ

ンかすみ草』がオープンしました。このサロンは、誰もが気軽に立ち寄れる地域の拠点としてカフェをメインに活動しています。小物作り、編み物、健康講話等さまざまな企画を実施しています。運営は、地区社協と、医療法人健友会が行い、民生委員・児童委員とボランティア、学生によって運営されています。地域の様々な方のご協力によって高齢者の安心を見守る事が出来るのだと確信しています。



地域ふれあい福祉まつりの様子



かすみ草健康福祉講話の様子



名細地区

岸田 福保

地域のつながり

『いもっこ体操』

私達の住む小堤地区は名細の中心と言われ、名細市民センターや小・中学校も近くにあり非常に生活するには便利な所です。自治会長時代に、自治会活動が近隣地区より低調なことを知り、「とにかく何かできる事をしなくては」と強い思いを持ちました。しかし、



いもっこ体操

自治会長の任期も終わり関わりも疎遠になってしまいました。

二年後、思いがけず民生委員・児童委員の依頼があり、「あの時の思いを実現できるかもしれない」と引き受けることになりました。そこで私は、介護予防サポーター養成講座を協力してくれる仲間六名と受講し二年かかりましたが、サポーターが揃いました。

その仲間とともに、いもっこ体操を昨年十月、地域包括みなみかぜ、西部診療所プライムの指導のもと、立ち上げることができました。

自治会役員・登録会員三十六名の大所帯で毎月二回



行っています。体操の目的は、いつまでも元気に健康でいられること、そしてもう一つには、新旧の住民がこの場を利用し仲間づくりをして欲しいことです。

今年一月からは私達が主体で行っています。体操後は、ハーモニカを楽しんでいる人達の演奏で歌ったり(ナツメロ・童謡)川越警察署交通課・生活安全課の講話(交通ルール・振り込め詐欺)や、東京パラリンピックの正式種目ボッチャを体験、乳酸菌飲料会社の健康講話(体の中の働き・便)など参加者の皆が興味を持つてもらえるようメニューを考えています。なかでも好評だったのがボッチャで、次回もやって欲しいとの要望がありました。参加の皆さんから、出か



川越市社会福祉協議会のホームページに「民児協だより」が掲載されています

川越市社会福祉協議会ホームページ

左側のメニューから「広報・啓発」をクリック

「福祉団体の事務局業務」をクリック

市民児連の「民児協だより」の各号をクリック

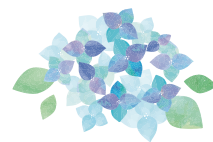
川越市社協

検索

主な市民児連活動予定

- 六月三日 理事会
- 七月一日 全員研修会
- 七月二十九日 理事会
- 九月二日 理事会

ける機会や集える場所ができた事に感謝の言葉を頂きました。これを励みに、今後も皆さんに笑顔溢れる場であるよう努力して行きたいと思えます。



時の鐘

平成から令和へと時代が改まり、誰もが願うことは、新しい時代も平和な社会であってほしいということでしょう。

今回の編集にあたり感じたことは、我々一人ひとりの身近には、常に人の手を必要としている人がいるということ。そして、いかに時代が変わろうとも「令和」という年号に込められた「人々が美しく心を寄せ合う中で優しい社会は育つ」という思いを、一歩でも進めていく努力を忘れてはならないと思えます。

第七十七号の編集担当は、伊東正晃、齋藤博和、岡田実、羽鳥直儀、後藤美代子、安田桃子、久保田緑、神山裕一の八名です。

